１．教育計画　　看護の統合と実践

分野	専門分野　看護の統合と実践	科目名	国際看護と国際保健
単位・時間	１単位・１５時間	対象学年	３年生
方法	講義、演習	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	外部講師　後藤　あや（６時間） 外部講師　山脇　功次（４時間） 専任教員　小林　志保（４時間）		
講師の実務経験	小林：看護師として星総合病院に１０年１か月		
学習目標	グローバルな視点から健康問題について考え、国際協力の必要性及び看護の役割について学ぶ。		
成績評価方法	外部講師　筆記試験１００点		
使用テキスト	看護の統合と実践[3]　災害看護学・国際看護学　第５版		
参考文献			
履修上の留意	グループディスカッションを含む演習		
講師からの メッセージ	世界の人々の健康を守るためにより良い保健医療システムをつくるためには、各地域における人々のニーズに合ったサービスの提供が必要となります。国際看護の講義では、このプロセスに関わる実践的な知識を学びます。		

２．授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
１	２	国際保健：概論１	世界の健康課題と国際協力の体系について学ぶ。	講義 演習	後藤
２	２	国際保健：概論２	海外の事例検討を通じて、社会経済状況や文化を考慮したアプローチを学ぶ	講義 演習	後藤
３ ４	４	外国人診療・渡航医学	外国人診療・福祉対応の事例、日本人患者が渡航する事例を通じて、臨床面で必要な知識を学ぶ	講義 演習	山脇
５	２	国際保健：応用１	海外でプロジェクトを計画・実施、また、海外へ技術移転する際の手順について、実例を通じて学ぶ	講義 演習	後藤
６ ７	４	在日外国人への医療支援について	①在日外国人からみた日本の医療の現状 ②在日外国人への看護活動を考える	講義	小林
８	２	評価	筆記試験/レポート		